

第七十四回
帝國議會
貴族院

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ
充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

特別委員會會議事速記録第四號

昭和十四年二月二十五日(土曜日)午前十
時二十九分開會

○委員長(子爵高橋是賢君) デハ是ヨリ一
昨日ニ引續キ開會ヲ致シ御質問ヲ御願ヒ致
シマス

○河田烈君 只今參考書ヲ御配付下サイマ
シタカラ、此ノ内容ヲドナタカ政府委員カ
ラ伺ッテ見タイト思ヒマス、内國債證券發行

高券面種類別調、此ノ十三年末七十七億二
千百八十三萬四千圓トアリマス、其ノ他備
考、内國債現在額ハ百四十九億云々トアリ
マス、七十七億ト百四十九億、即チ約百五
十億トノ差ガ約七十億ト云フモノガ、十萬
圓以上ノ券面ヲ出シテ居ナイト斯ウ承知シ
テ宜イダラウト思ヒマス、サウスルト約百
五十億ノ内國債ノ中、七十七億、半分ガ證
券發行ノ内國債デアッテ、半分ガ登録公債、
約百五十億ノ總額ノ中、半額七十億ガ登録
公債トスルト、此ノ前衆議院ノ水谷委員ノ
要求サレタ大藏省ノ參考書、昭和六年以降
各年末ニ於ケル内國債總額、日本銀行内國
債所有額及同上ノ割合調、一番終ヒノ各年
末ノ昭和十三年末ニ内國債總額百四十九億
三千萬云々ト總額ガアリマス、其ノ中日本

銀行内國債所有額ハ十六億、七十億バカリ
ノ登録公債ノ中、十六億ガ日本銀行所有ト
スルト、後ノ大部分約五十億バカリガ日本
銀行以外ノ所有者ト斯ウ解釋シテ宜シウゴ
ザイマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 御説ノ通りデ
アリマス

○河田烈君 學究的ナコトヲ伺ッテ恐縮デ
アリマスガ、約五十億ノ民間ノ登録公債ト
云フモノノ中、古い「コンソール」トデモ云フ
モノガ相當アラウト思ヒマス、チヨット私共
考ヘテ見ルト、日本銀行ノ見返リトカ、其ノ
他或ハ供託ニスル向キニハ債券ノ方ガ便利
ニ違ヒナイノデスガ、民間ノ所有公債ノ中
七十億ノ證券ガ出テ居リマスガ、其他ノ五
十億ト云フ中ノ後ノ大キナ登録公債ハドウ
云フ事情ニアルカ否ヤ、チヨット疑點ヲ懷ク
ノデアリマスガ、結論ヲ申セバドウ云フ方
面デ多ク持ッテ居ルノデアリマスカ
○政府委員(入間野武雄君) ソレハ預金
部、簡易保險局ニ所有シテ居リマス、殆ド
登録公債ニナッテ居リマス、其ノ額ガ相當巨
額ニ上ッテ居リマス

○河田烈君 能ク分リマシタ

○藤原銀次郎君 今年迄ハ相當ニ公債ノ發
行ガ殖エマシタガ、大シタコトハアリマセ
ヌデシタラウト思ヒマスガ、是カラハ非常
ニ殖エルノデアリマセウ、公債ノ枚數モ相
當ニ是デ見マス殖エテ居リマスガ、此ノ
公債ノ用紙並印刷ト云フヤウナコトハ、急
激ニ増加スルト相當ニ困難ナ問題デハナカ
ラウカト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ
付テ印刷局ナリ何ナリノ御準備ハウマク
行ッテ居ルコトト思ヒマスガ、ドウ云フ模
樣デアリマスカ、其ノ用紙ノ製造及印刷ノ
狀況ニ付テ御聽キシタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 御話ノ通り公
債ノ印刷ノ爲ニ印刷局ガ非常ニ忙シクナッテ
居リマスルコトハ事實デアリマス、併シナ
ガラ只今ノ所國債ノ印刷ト云フモノニ付キ
マシテ、色々豫算モ殖シマシテ支障ノナイ
ヤウニ取ッテ居リマス、殊ニ割引國債デ
モ出シマスヤウニナリマスレバ、モウ一層
簡單ニ出來ルカト考ヘテ居リマス

○藤原銀次郎君 此ノ十圓券トカ二十五圓
券トカ五十圓券トカ云フヤウナ公債ヲ民衆
化シテ、サウシテモウ少シ澤山斯フ云フ小額
ノ公債ヲ普及シタイト云フノガ私共ノ希望

デアリマスシ、政府モ其ノ御趣旨ノヤウニ
拜承シテ居リマスガ、サウシマススト云フト、
一層其ノ用紙ノ製造及印刷ガ問エテ來ルダ
ラウト思ヒマスガ、公債ノ民衆化ガモウ少
シ徹底シテ參リマシテ、モウ少シ殖エマシ
テモ印刷ノ方ニ付テハ支障ガナイト諒解シ
テ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 只今御話ノ通
リ小額國債ヲ出シマシテ、國債ノ民衆化ヲ
圖ルコトハ御話ノ通り政府モ骨ヲ折ッテ居
リマス、從ヒマシテ之ガ爲ニ印刷局ノ仕事
ガ非常ニ増加スルダラウト考ヘテ居リマス
ガ、政府ト致シマシテモ斯ウ云フ國債ノ民
衆化等ノ爲ニ仕事ガ増加致シマシテモ、ソ
レニ支障ヲ來サナイヤウニ設備ノ擴張ナリ
豫算ノ増加ナリニ依リマシテ、印刷局ノ機
能ヲ十分發揮サセタイト存ジテ居リマス

○藤原銀次郎君 過日私ハ、政府カラ頂戴
シタ材料ニ依リマシテ、國民ノ貯蓄ガ約八
十億圓ニ上ッテ居ルト云フ所ノ數字ヲ見マ
シテ、大變ニ大キナ數字デ我ガ國ノ經濟力
ガ非常ニ旺盛デアルト云フコトヲ喜ンデ拜
見シタノデアリマシタガ、此ノ今日頂戴シ
マシタ郵便局賣出國債ト云フモノノ何ヲ見

マシテ、是ガ約五億二千萬圓位ニナツテ居ルノデスガ、是モ矢張り一ツノ國民ノ貯蓄ト見テ差支ナイト思ヒマスガ、是ハ國民ノ貯蓄ノ中ニ入レルベキモノデセウカ、入レテモ宜シイト云フ御考デアリマセウカ

○政府委員(矢野庄太郎君) ソレハ國民ノ貯蓄ト政府ノ方デモ見テ居ルノデアリマス

○藤原銀次郎君 見テ居リマスカ

○政府委員(矢野庄太郎君) ハア

○藤原銀次郎君 八十億ガ八十五億迄國民ノ貯蓄ガ殖エテ居ルト、斯ウ看做シテ宜シイ譯デスナ

○政府委員(矢野庄太郎君) 無論サウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○藤原銀次郎君 一昨日私ガ此處デ約八十億圓ノ貯蓄ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、此ノ計算ハ大藏省ノ御考ト違ッテ居リマスデゴザイマセウカ、大藏省モ矢張り凡ソ其ノ位ナ數字ニナルト御考デゴザイマセウカ、或ハ私ガ間違ッテ居リマシタラ、大藏省カラ御指摘ヲ願ヘバ大變結構デゴザイマス

○政府委員(入間野武雄君) 實ハ一昨日ノ御話ヲ私コチラヘ出席致シマセスデ、伺ッテ居リマセス、其ノ御計算ノ内容ニ付キマシテハ分リ兼ねマスデゴザイマスガ、大藏省ノ見テ居リマスノハ、大體金融機關ニ集リ

マシタ所ノ國民貯蓄ノ額ガ四十八億位ト見テ居リマス、其ノ外私人ノ有價證券投資ヲ二十二億ト見マシテ、大體昨年ハ七十億位デハナカラウカト考ヘテ居リマス、藤原サシノ御計算ノ中ニハ、或ハ會社ナドノ拂込モ入ッテ、サウ云フ風ニ多クナツテ居ルノデハナカラウカト想像シテ居リマスルガ、大藏省デハ大體推定デゴザイマシテ、此ノ通リピツチリシタ數字デハ無論ナイト思ヒマスガ、拂込等ノ中カラ個人ノ拂込ナドト認メマスモノ、又先程御示ノ如キ小額國債ヲ買ヒマシタ額、サウ云フヤウナモノヲ合セマシテ大體二十二億位デハナカラウカ、サウシマス金融機關ニ集リマシタ貯金ト私人ノ有價證券ノ投資等ヲ合セマシテ、昨年中ニ於ケル貯蓄額ガ大體七十億餘リデハナカラウカ、唯昨年大藏省デ貯蓄額八十億ヲ目標トシテ進ンデ居タノト違フデヤナイカト云フ御意見ガアルカモ知レマセス、ガ併シナガラ昨年ノ貯蓄獎勵運動ハ四月以後ノコトデゴザイマシテ、其ノ運動開始以後一年間ノ數字ハマダ纏ッテ居リマセスノデ、此ノ三月迄ニハ或ハ大藏省ノ目標トスル八十億ニ達スルノデハナカラウカト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○藤原銀次郎君 只今ノ御話ニ付キマシテ

此ノ四十八億即チ約五十億圓ト云フモノガ、昨年度ノ増加シタ銀行預金及郵便貯金其ノ他ノ貯蓄デアリマス、是ハ大藏省カラ頂戴シタ其ノ數字、今度私ガ加ヘマシタノハ會社ノ社債及銀行ノ債券ノ發行高ガ十一億圓、之ニ拂込金額ガ二十億圓、之ヲ加ヘタノデスガ、只今ノ御説明ニ依リマスルト云フト、債券ノ新規發行高十一億圓ヲ加ヘルノハ合ガ惡イデヤナイカト云フヤウナ御趣旨デゴザイマセウカ、又ハ銀行ノ拂込ノ二十億圓ヲ此處ヘ貯蓄ト見ルノハ合ガ惡イノデヤナイカト云フ御趣旨デゴザイマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 此ノ私人ノ有價證券ニ對スル投資ハ、正確ナル計算ハटनाガナスッテモナカ、ムツカシイダラウト考ヘテ居リマス、ソレト大藏省デ見マスノハ社債ノ發行總額、或ハ拂込總額ノ中カラ大體私人ノ拂込ミマシタモノ、又社債ヲ買ヒマシタモノガ此ノ位アルノデハナカラウカト云フ御趣旨ヲ加ヘマシテ、サウ云フ計算ヲ下シテ居リマスヤウナ譯デゴザイマス

○藤原銀次郎君 マア此ノ社債ノ發行ハ、例ヘバ民間ノ人ガ社債ヲ買ヒマスル時ニ、銀行ノ預金ヲ引出シテ買フトカト云フヤウナコトガ普通デアリマスカラシテ、社債ヲ

買ヘバソレダケ預金ガ減ル譯デアリマス、ソレデ又拂込ヲスレバソレダケ預金ガ減ル譯デアリマス、拂込ノ方ヲ別ニ致シマシテ社債ノ方ハ是ガ全部預金デ社債ヲ買フ時ニ銀行カラ金ヲ借りテ買フト云フコトハナイカラ、社債ハ貯蓄ト看做シテモ、即チ預金ト看做シテ差支ナイデヤナイカト私ハ思ヒマスガ、拂込ノ方ハ其ノ中ノ若干ハ或ハ借入金デ拂込ムト云フヤウナコトモアリマスカラ、ソレヲ全部貯蓄ト見ルト云フコトハドウモ只今御説ノ通りニ正シクナイト云フヤウナコトニナルカトモ思ヒマスガ、マア何レニ致シマシテモ八十億ト七十億トノ差、少ク見テモ七十億、多ク見テ八十億ト云フ所ダラウカト思ヒマス、ソレニ今御話ノ五億圓ト云フモノノ公債ノ郵便局賣出ト云フモノモ、是ハドウモ貯蓄ノヤウニ思フ、サウスルト七十億、八十億、七十五億乃至八十五億ト云フ其ノ中間ガ本當ノ國民貯蓄ノ増加ト思ハレルヤウナ氣ガ致シマスガ、マア大體其ノ位ノ所ニ諒解致シテ宜カラウカト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(入間野武雄君) 御説御尤ト拜承致シマス、唯此ノ社債等ニ於キマシテハ、昨年新規發行ガ十一億六千餘萬圓、借換ガ四億二千萬圓バカリデアリマス、其ノ社債

ノ發行ノ中デ個人ガ持チマスモノハ、御説
ノ通り全部貯蓄ト見テ差支ナイト考ヘテ居
リマス、唯社債ノ中デ銀行ナドガ持チマス
モノモアルドラウト考ヘテ居リマスガ、是
ハ私共ノ計算デ大體個人ノ貯蓄ト見ナイ
デ、之ヲ除外致シテ計算致シテ居リマス關
係ガアリマスノデ、御示ノ所ト多少數字ノ
喰違ヒハ生ジテ來ルノダト考ヘテ居リマス、
併シナガラ是モ的確ニ是ダケト云フ引キ方
ハムツカシイノデ、^{差支}觀ヲ以テ大體見テ居
リマスヤウナ譯デアリマス、ソレカラ郵便
局賣出ノ小額國債ハ、是ハ個人ノ貯蓄ト全
部見テ差支ナカラウト存ジテ居リマス、株
式ニ付キマシテハ御説ノヤウニ個人ノ貯蓄
ニナルモノモアリ、然ラザルモノモアルカ
ト存ジテ居リマス、殊ニ會社ナドノ持ッテ居
リマス株式ニ付キマシテハ除外スルノガ妥
當デハナイカト考ヘテ居リマス、一昨日デ
ハアリマスガ、西野サンノ御尋ノ兌換券ノ
發行高ニ付キマシテ御尋ガアリマシタ、大
臣ガ御見エニナリマシタノデ、御答辯申上
ゲマセヌデ其ノ儘ニ相成ッテ居リマシタガ
本日申上ゲタイト存ジマス、昭和十年中ニ
於キマスル日銀券ノ發行高ハ十二億四千七
百餘萬圓、平均發行高デゴザイマス、其ノ中
朝鮮銀行券ノ支拂準備ニ充當セラレマシタ

額ガ平均高デ約八千九百餘萬圓、差引十一
億五千七百餘萬圓ガ市場ニ流通シテ居ル額
ト看做サレルモノデゴザイマス、十一年ニ
於キマシテハ、發行高ガ平均十三億四千餘
萬圓デアリマシテ、朝鮮銀行券ノ支拂準備
ニ充當セラレマシタ平均高ガ一億一千餘萬
圓、差引十二億三千八百餘萬圓ガ流通高ニ
相成ッテ居リマス、昭和十二年ニ相成リマス
ト、新タニ臺灣銀行券ノ支拂準備ニ日本銀
行券ヲ充當スルコトニ相成リマシタノデ、
其ノ月以前ト其ノ月以後ト區別シテ考ヘマ
スレバ、一月カラ八月迄ノ日本銀行券ノ平
均發行高ガ十四億五千八百餘萬圓デアリマ
シテ、朝鮮銀行券ノ支拂準備ニ充テラレマ
シタ額ガ八千八百餘萬圓、差引十三億七千
餘萬圓、九月カラハ臺灣銀行ノ銀行券ノ支
拂準備ニモ充テラレテ居リマスノデ、九月
以降ニ於ケル日本銀行兌換券ノ發行高ハ十
六億八千八百餘萬圓デアリマシテ、其ノ中
朝鮮銀行券ノ支拂準備ニ充當セラレマシタ
額ガ一億一千三百餘萬圓、臺灣銀行券ノ支
拂準備ニ充當セラレマシタ額ガ三千七百餘
萬圓、差引キマシテ十五億三千七百餘萬圓ガ
流通高ニ相成ッテ居リマシテ、此ノ年中ヲ通ジ
テノ流通高ト認メラレマスモノガ十四億二千
六百餘萬圓ト相成ッテ居リマス、昨年ニ入り

マスルト、日本銀行ノ兌換券ノ發行高ガ十
九億一千九百餘萬圓デアリマシテ、朝鮮銀
行券ノ準備ニ充テラレテ居リマス額ガ一億
五千七百餘萬圓、臺灣銀行券ノ準備ニ充テ
ラレテ居リマス額ガ五千九百餘萬圓デアリ
マシテ、差引十七億三百餘萬圓、斯ウ云フ
風ニ相成ッテ居リマス、從ヒマシテ此ノ流通
高ノ只今申上ゲマシタノラズット申上ゲマ
スト、十年ニハ十一億五千七百餘萬圓、十
一年ニハ十二億三千八百餘萬圓、十二年ニ
ハ十四億二千六百餘萬圓、十三年ニハ十七
億三百餘萬圓、斯ウ云フ風ニ相成ッテ居リマ
シテ、其ノ増加率ハ、十年ニ對シマシテ十
一年ガ約七「パーセント」、十一年ニ對シマ
シテ十二年ガ約十五「パーセント」、十二年
ニ對シマシテ十三年ガ約十八「パーセント」
ニ相成ッテ居リマス、唯此ノ十二年ノ秋頃カ
ラ十三年ニ掛ケマシテ、中支那方面ニ相當
額日本銀行券ノ流出シタモノガアルト存ジ
テ居リマスガ、此ノ額ガ不明デアリマスル爲
ニ、ドレダケ出テ居ルカハ分リマセヌガ、
十二年ノ下期及十三年中ノ流通高ト申上ゲ
マシタモノハ、モウ少シ内地ダケニ付テ見
マスレバ減少スルモノデハナカラウカト斯
ウ考ヘテ居リマス

シテ、分リマシタガ、若シ非常ナ御手數デ
ナイナラバ、只今伺ヒマシタ數字ヲチヨット
表ニデモシテ刷ッテ御配リヲ願ヒマシタナ
ラバ、他ノ方々ノ御便宜ニモナルト思ヒマ
スカラ、速記ニハ載ル譯デゴザイマスケレ
ドモ、速記ヲ見ル迄ニハ大分暇ガ要ルドラ
ウト思ヒマスカラ……

○政府委員(入間野武雄君) 承リマシテゴ
ザイマス、後刻御手許ニ差上ゲタイト存ジ
マス

○西野元君 他ニ御質問ガナイヤウデスカ
ラ、此ノ際チヨット參考ニ伺ヒタイト思ヒマ
スガ、臨時軍事實費ノ豫算ハマダ御提案ニナ
ラナイヤウニ承知シテ居リマスルガ、モウ
大體ノ輪廓ハ御分リニナッテ居ルト思ヒマ
ス、私ハ別ニ臨時軍事實費其ノモノノ歳出豫
算ニ付テ伺フ積リハナイノデスガ、實ハ我
我ノ此ノ委員會ニ付託セラレテ居ル公債ノ
法案ハ、形式的ニ申セバ、是ハ是デ法律案
トシテノ審議ガ出來ル譯デアリマスガ、財
政上ノ見地カラ申セバ、單ニ其ノ一端ヲ論
議シテ居ルダケデアッテ、決シテ之ヲ以テ全
體ノ財政ヲ論ズル譯ニハ參リマセヌ、要ハ
臨時軍事實費ノ財源ニ充テル公債ガ主體ニナ
ルモノト思フノデアリマス、大體ハ想像ガ
付クノデゴザイマスガ、若シ大凡御決リニ

ナツテ御説明ガ出來マスノナラバ、大體ソレハドノ位ノ御見込ニナリマセウカ、伺ヘレバ本案ヲ審議スル上ニ大變參考ニナルト思ヒマスガ、其ノ點如何デゴザイマセウカ

○政府委員(矢野庄太郎君) 只今ノ御尋ハ

誠ニ御尤ナ御質問ト存ジテ居リマスルガ、實ハ色々企畫院、軍部等ノ當局ト目下折衝中デゴザイマシテ、マダ此處デ申上ゲル程度ニハナツテ居ラヌノデアリマスガ、成ルベク急イデ議會ノ方ヘ提出シタイト斯様ニ存

ジテ居ル譯デゴザイマス、何時迄ニト云フコトヲ此處デ日取ヲハッキリ申上ゲルコトハ出來ヌノデゴザイマスガ、モウ四五日ノ中ニハ提出ガ出來ルノデヤナイカ知ラヌト斯ウ云フ風ナ心組デ居リマス、左様ニドウカ御諒承ヲ願ヒマス

○藤原銀次郎君 此ノ大藏省カラ頂戴致シマシタ材料ノ中ニ恐ラク衆議院ノ方ノ何デゴザイマセウガ、外國債ノ明細ガゴザイマシテ、是ガ米貨債ト英貨債ヲ合計シテ十二億八千七百萬圓アリマスノデスガ、此ノ外ニ民間ノ電氣會社其ノ他ガ、外國ノ借入債券トシテ期限ガ來レバ拂ハナケレバナラヌ義務ヲ負ウテ居ルモノハ、ドノ位ゴザイマセウカ、其ノ明細ヲ若シ伺ヘレバ、御願ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(矢野庄太郎君) 今數字ヲ持ッテ居リマセヌノデ、後程取調ベテ御答ヘ申上ゲマス

○主査(子爵高橋是賢君) 政府委員ニチ

ヨット御尋ネ致シマスガ、確カ此ノ前藤原サシカラノ御要求デアッタト思ヒマスガ、「株式資本増加額調」ノ中デ、増加シタ會社種類別ノ表ガ若シ御分リナラ戴キタイト云フ申出ガアッタノデスガ、御調ガマダ出來マセヌカ

○政府委員(矢野庄太郎君) マダ調ガ出來

テ居ナイサウデアリマス、調ガ出來次第……

○伯爵橋本實斐君 私モチヨット御尋ネ致シタイト思ヒマス、過日來御先輩ノ方カラ段々色々重要ナ御質疑ガゴザイマシテ、問題モ總論カラ各論ニ入ッタ感ヲ呈シテ居リマ

ス、其ノ間ニ於キマシテ政府カラ色々御答辯デ、公債ノ今日迄ノ情況、國民貯蓄ノ情況等モ、ソレハ明カニ致スコトガ出來マシタ、承リマスレバ、國民貯蓄ハ色々モノヲ合セマシテ七十億乃至八十億ニ上ル趣デアリマス、出ヅルヲ量シテ入ルヲ制スルト云フ國家ノ財政デゴザイマスカラシテ、國家政策上所要ノ經費ハ何トシテモ之ヲ支辨セヌ譯ニハ參ラヌノデアリマス、殊ニ現下戰時狀態ノ今日ニ於キマシテハ、ソコニ政府當局ノ御苦

心ノ存スル所ト存ジマシテ、私共モ國民ノ一人トシテ心密カニ心配致シテ居ル次第デゴザイマス、事變モ段々進展シテ參リマシテ之ガ經費ノ支辨モ段々嵩ンデ參リマス、公債モ今日デハ既ニ百五十億ニ垂ントシテ

居ル次第デアリマス、猶此ノ上ニ臨時軍事費等ヲ加ヘテ參リマス、巨額ノ公債ヲ將來發行シナイ譯ニハ行カヌコトト存ジマス、必要ノ前ニハ國民ハ石ニ齧リ附キマシテモ之ヲ支辨シナケレバナラヌト思ヒマス、國民經濟力ガ意外ニモ今日迄底力ノ強

イコトニ私共モ驚イテ居リ、又心強クモ存ジテ居ル次第デゴザイマス、現在ノ狀態トソレカラ又將來支那、滿洲ノ資源ヲ開發出來マシタト致シマシテモ、是等國民所得ヲ基礎ト致シマシテ將來年々ニ發行シ得ル公債ノ限度ガドノ位デアラウカ、ソレニハ自

ラ限度ガアルコトト思フノデアリマス、而シテ從來ト致シマシテモ、過去何代カノ内閣毎ニ或ハ公債ノ發行限度ヲ五十億ヲ超エルコトガ出來ナイ、色々稱セラレテ來テ居リマスガ、段々時勢ノ變遷モゴザイマセウ、其ノ間ノ國民ノ經濟ノ發展ノ情況ニモ依リマセウガ、今日迄ハ幸ヒ難局ヲ切抜ケテ參リマシタ、御承知ノ通り或ハ近い將來ニ於テハ公債ガ二百億ニ垂ント致シテ居ル

ヤウナコトニ迄ナツテ居リマス、斯ウ云フ次第デゴザイマスルカラ何トシテモ日本ノ國民ト致シマシテ其ノ都度切抜ケテハ參リマセウガ、將來ノコトヲ考ヘマスドドウモ

心配ニナルノデゴザイマス、之ヲ避ケンシテモ避ケルコトガ出來ナイ國家内外ノ情況ニナツテ居リマスルカラシテ、政府ト致シマシテモ非常ニ御苦心ノアルコトト思フ、將來ノコトハ豫斷スルコトハ何人ニモ出來

ナイ次第デゴザイマスルガ、併シ國民ノ經濟力、貯蓄力等ト見合セマシテ、公債發行ノ限度ト云フモノハ凡ソ豫想ガ付クコトト思フ、私共誠ニ財政經濟ノコトニ素人デゴザイマシテ、素人デアレバアル程其ノ事ガ心配ニナル、又國民一般モ之ヲ知ラント熟

望シテ居ルコトト存ジマス、過日來先輩諸氏ノ御質疑ニ依リマシテ、皆様モサウ云フ御心配ノ下ニソレ等ノ御質疑ヲ重ネテ居ラレルコトト思フ、若シソレ等ノコトニ付キマシテ政府ノ御考ヲ御漏シ願ヘレバ甚ダ結構カト存ジマス、或ハ大變重大ナ問題デゴザイマスシ、大臣デナクバ答ヘラレスト仰セナラバソレデモ宜シウゴザイマス
○政府委員(矢野庄太郎君) 私カラ一應御答ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、御心配ノ程ハ國家ノ爲誠ニ御尤ト存ジテ居リマス、

昨年ハ御承知ノ通りニ約三十八億圓消化ヲ致シテ居リマス、處デ然ラバ十四年度ニ於テ幾ラ發行シテソレヲ消化スルカヲ持つテ居ルダラウカ、斯ウ云フ御問デアリマスルガ、只今御示ノ通りニ從來政府ニ於テハ、日本ノ公債發行カ即チ消化力ヲ何十億デアルト云フヤウナ數字デ、固定的ノ數字デ示シタコトモゴザイマスルケレドモ、私ガ申上ダズトモ能ク御承知ノ通りニ、是ハ固定的ノ數字デ示スコトハ頗ル困難デアラウト思ッテ居リマス、即チ物價對策、消費節約ノ獎勵、貯蓄運動ト云フヤウナ、國民ノ精神力ニ訴ヘテヤレバ相當消化ガ出來ルノデナ

イカ知ラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスルノデ、政府ニ於テモ消化ノ見込ノ十分ニ付イタ、即チ確信ノアル所デ其ノ時、其ノ時デ公債發行ノ限度ヲ決メテ行キタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス、申上ゲル迄モナク爲替相場ヲ維持スルト云フコト、國債ヲ消化サセルト云フコトハ、是ハ日本ノ財政ノ生命線デアルトモ考ヘテ居ルノデ、如何ニシテモ是ダケハ目的ヲ貫徹シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、一應私カラ是ダケ御答ヘ申上ゲテ置キマス

○伯爵橋本實斐君　チヨット速記ヲ止メテ

戴キマス

○委員長(子爵高橋是賢君)　速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(子爵高橋是賢君)　速記ヲ始メテ

○稻畑勝太郎君　私ハ、大藏大臣ガ御出席ニナリマシタラ御質問申上ゲタイト思ッテ居ッタノデスガ、其ノ御質問申上ゲルコトガ、只今橋本伯カラノ御質問ニ關聯シタ事柄デアリマスノデ、茲デ申上ゲタイト思フノデス、ソレハ新聞ノ記事ト云フモノハ往往間違タコトモアリマセウガ、上海ニ於テ、大上海ノ都市計畫、是ハ恆産會社デ愈著エト云フコトガ大阪朝日新聞ニ出テ居リマシタガ、之ニ依リマス、上海恆産株式會社ト云フモノガ三千萬圓ノ資本デ出來テ居ル、ソレデ外務省ト協力シテ上海ノ都市計畫ニ御著手ニナッタト云フコトガ出テ居タノデアリマスガ、又世間デノ風聞ニ依リマス、天津ニモ此ノ種ノ都市計畫ヲ致ス、又一種ノ「デマ」デモアリマセウケレドモ、ソレガ段々想像ニ想像ヲ生ムデ、中ニハ興亞院トカ何處カデオヤリニナッテ居ルカ知リマセウガ、御調査デハアルノデセウガ、黃河ノ氾濫ヲ防備スルト云フヤウナ御調査モ出テ居ル、御調査ナドハ誠ニ結構ナ

コトデ、是ハ科學的ナコトデアリマスカラ、御氣ノ付イタコトハ出來ルダケノ調査研究ヲスベキコトデアリマスケレドモ、只今橋本伯カラノ仰セラレタ如ク、矢張り入ルラ量ッテ出ヅルヲ制スルト云フコトガ必要デアリマスルガ、固ヨリ今回支那事變ニ對シテ軍事上、國防上ノ必要ナルコトハ、我々國民ハ最後ノ一錢迄モ是ハ出シテデモ、此ノ目的ヲ貫徹シナケレバナラヌコトハ是ハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、併シ何分ニモ百五十億カラノ公債ガ既ニ出テ居ル、又今回軍事費トシテドノ位豫算ヲ御出シニナルノカマダ分ラヌ時デアル、或ハ直キニ二百億以上ニモナルヤウナコトハ疑ナイト思ッテ居ルノデス、是ハ私モ嘗テ經濟調査委員トシテ井上準之助サンノ大藏大臣ノ時分ニ、公債ノコトデ審議ニ與ッタコトガアリマス、其ノ時ノ決議ハ五十億以上公債ヲ募集シテハイカヌト云フ決議ヲシタコトガアリマス、丁度前田米藏サンガ商工大臣デイレシヤイマシテ、サウ云フ決議ハスルガ、併シ産業上ノ必要ナル公債ダケハ除外シテ貰ハナケレバ困ルト云フヤウナ話ガアッタ位デアリマシテ、其ノ時カラ見レバ感慨無量デス、固ヨリ今日ノヤウナ大時局ガ起ルトハ想像シテ居ラナダノデアリマス、併シナガラ今日ハ矢張り入ルラ量ッテ出ヅルヲ制スルト云フコトダケハ、御當局ナリ又國民モ各自ニ其ノ考ヲ以テ國民トシテハ貯蓄ヲシ、御當局ニ於テモ已ムヲ得ザルモノハ出資シナケレバナラヌケレドモ、併シサウ有リ餘ツタ身代デハナイノデスカラ、必要デハアッテモ何モ彼モヤルコトハ出來ナイ、ソコニハ緩急ヲ圖ッテ行カナケレバナラヌト思フノデス、丁度大體我ガ國ノ植民政務ヲ見マシテモ、白人ノ植民政務トハ違ヒマシテ、我ガ國ノ植民政務ハ王道ヲ基トシ、日本ノ文化ヲ植民地ニ布クト云フノガ日本ノ趣意デアリマシテ、故ニ臺灣ニ於キマシテモ、朝鮮ニ於キマシテモ、其ノ土著ノ人ガ恩惠ニ浴シ、非常ナル博愛文化ト云フ點カラシテ、外國人ガ見テモ驚歎シテ居ルヤウナ效果ヲ收メ、又善政ヲ布イテ居ルノデアリマスルガ、ソレト同時ニ能ク臺灣アタリニ居ル內國人ノ不平ヲ聽キマス、我々母國ノ者ガ、是ダケノ犠牲ヲ拂ッテ臺灣人ガ恩惠ヲ得テ、內國人ガ其ノ割ニ恩惠ニ浴シナイト云フ不平ヲ能ク耳ニスルノデアリマス、是モ亦內地人カラ言ヘバ一理モアルデセウガ、併シ往々私ハ嘗テ佛領印度支那ヲ橫斷シタコトガアリマスガ、「フランス」ナンゾハ御承知ノ通り、道路ナゾハ附ケテ居リマ

スケレドモ、「サイゴン」ヲ占領シテ以來數十年ニ互リ餘リニ資本ヲ掛ケタ施設ハシテ居ラス、又「フランス」ノ印度支那ノ國內ニモ大シタ工業モ起シテ居ラス、或ハ「ホンガイ」アタリデ石炭ガ出ル、其ノ石炭ノ開發トカ何トカ云フハ、天然資源ノアルモノハ開發ハシテ居リマススケレドモ、併シナガラ産業ヲ起シテ、産業ニ投資スルトカ、或ハ土木事業ニ投資スルト云フヤウナ、金ガ掛ツテ利益ノ生ミ出サヌモノハ餘リ著手シテ居ラス、現ニ印度支那ノ關稅改正ノ時ニ私モ彼地ニ參リマシタガ、主ニ關稅改正ニ反對シテ居ルノハ「フランス」ノ母國ノ工業家ガ反對シテ居ル、印度支那ニ居ル「フランス」人ヨリ母國ノ人ガ反對シテ居ルト云フノハ、大體植民地ニ自國ノ製品ヲ賣ルト云フノガ彼等ノ目的トシテ居ッテ、自國ニ於テ産業ヲ起シ、自國民ノ幸福ヲ圖ルト云フコトガ、日本人ノ植民政略ニ重キヲ置イテ居ラスヤウニ思ハルノデアリマス、シテ見ルト王道ニ依ッテ日本ノ文化ヲ植民地ニ布クト云フコトハ人道上最モ我々誇リトスベキ所テハアリマスガ、丁度臺灣ニ居ル内地人が不平ヲ言ウテ居ルヤウナ譏リモ不平モ聽イテ居ルヤウナ點モ無キニシモアラズデアリマス、故ニ所謂是ハ主義ハ結構

デアリマスルガ、入ルヲ量ツテ出ツルヲ制スルト云フコトハ、皆御當局モ御考ニナッテ居ルヤウデアリマススケレドモ、例ヘバ滿洲ニ於テモ現今ノ御施設ガドウカト云フト自給自足スル、故ニ先般大阪デ日滿ノ懇談會ガアリマシタ時モ、紡績ノ如キモ滿洲ニ必要ナルモノハ滿洲デ紡績ヲ興シタイト云フコトヲ滿洲ノ當局モ話サレタノデアリマス、其ノ當時既ニ大阪ノ紡績ハ五割以上モ休鍾シテ居ル、成ルベク休鍾シテ居ルノデアアルカラ一方カラ棉モ國家カラ頂戴シテ、サウシテ此ノ休鍾シテ居ル一部分デモ動カシテ滿洲ノ不足分タケハ供給シタイト、大阪アタリノ工業家ハ熱望シテ居ッタノデアリマス、併シ今日休鍾ノ結果或ハ滿洲ニ紡績業ヲ移ストカ云フヤウナ議モアリ又許可ニナッテ、著手シテ居ル紡績會社モアルヤウニ聞イテ居リマス、併シ是等我々憂慮スベキコトハ、此ノ紡績業ニ於テ自分ノ休鍾シテ居ル鍾ヲ滿洲ニ移スト云フコトハ經營者或ハ資本家トシテハ宜イカモ知レマセヌガ、今後時局ガ復舊シテ來タ時分ニハ勞働者ガ剩ッテ來ル、サウ云フ時ニ勞働者ヲドウスルカト云フコトモ、今日ニ於テ御考ニナッテ置カニヤナルマイト我々ハ思ウテ居ルノデアリマス、ソレノミナラズ滿洲デハ勞働賃銀

モ大阪アタリカラ見レバ四分ノ一、五分ノ一モ廉イノデスカラ、是ガ相當ニ秩序ガ維持サレ整頓スルト云フコトニナレバ、日本ノ工業ノ競争者ニナリハシナイカト迄杞憂シテ居ル者モアルノデアリマス、是ハ滿洲ニ於テ國防上、滿洲ノ國防上重工業ヲ興ス必要ガアル、自動車モ國防上必要デアルト云フノデ御興シニナルノハ宜イガ、平和工業ニ迄斯ウ云フ物資ノ缺乏ヲシ、又資金ノ節約ヲセニヤナラス時ニサウ云フ方面ニモ御伸シニナルト云フコトハドウ云フ風ナモノデアアルカ、ソレカラ支那ニ至リマシテモ上海ノ此ノ新聞ニアリマス通り、上海ノ都市ヲ三千萬圓ノ資本金デ御造リニナルト云フコトハ、是ハ目下租界ニ於ケル「テロリズム」等カラ見マシテモ必要デアアリマセウ、必要デアアリマセウガ、マア上海ノミナラズ此ノ主義デ天津ニモ、廣東ニモ、漢口ニモ都市ノ計畫ヲ爲サル、道路ヲ敷クトカ云フ、所謂日本ノ文化ヲ資金ノ力ニ依ッテヤルト云フコトニナレバ、今日ノ二百億ノ公債ガ三百億、四百億アッテモ足ラナイト思フノデアリマシテ、ソレハ國民モ心配シテ居ル所以デアリマス、併シナガラ軍事以外ノコトデモ、或ハ其ノ占領地ノ秩序ヲ維持スル爲ニハ已ムヲ得ヌ必要ナル施設ハナサ

ラニヤナラスコトデアリマセウガ、ソコハ所謂大藏省ノ諒解ナクシテハ豫算ト云フモノハ出來ルモノデヤナイノデアリマシテ、大藏當局ニ於テハドノ程度迄國防ノ費用以外ニ、ドノ程度迄今後ハ御許ニナル御考デアアルカ、之ヲ伺ヒタイト思ッテ居ルノデス

○政府委員(矢野庄太郎君) 只今ノ御尋ノ此ノ休鍾ヲ北支ヘ持ッテ行ク、滿洲ヘ持ッテ行クト云フ問題ハ、此ノ點ハ私ハ、是非常ナ重大問題デアッテ、輕々ニ決行スベキモノデナカラウト斯様ニ考ヘテ居リマス、内地デ何十年間掛ッテ發達シタ纖維工業ヲチヨットシタ思ヒ付キカラ、根本的ニト言ッチャ語弊ガアルカ知レマセスケレドモ、ソレニ相當打撃ヲ與ヘルヤウナ方策ハ、是ハ慎重ニヤッテ行カナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ只今御話ノ上海ノ都市計畫ノ問題ニ付テ是ハ御承知ノ通り、特殊ノ事情ガアルノデ政府ノ方ニ於テモ考ヘナクテヤナラスノデヤナイカト思ッテ居リマススケレドモ、天津、漢口、廣東ト云ッタヤウナ所迄、都市計畫デ金ヲ入レルト云フコトハ是ハ出來ナイコトデヤナイカ知ラヌ、斯ウ云フ風ニ實ハ見テ居リマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(子爵高橋是賢君) 速記ヲ始メテ

○伯爵橋本實斐君 先程私ガ質問中、國家

財政ハ出ツルヲ量ツテ入ルヲ制スルト申シマ

シタガ、稻畑サンハ入ルヲ量ツテ出ツルヲ制

スルト云フ風ニ御了解ニナツテ居ルヤウデア

リマスガ、私ハ依然トシテ出ツルヲ量ツテ入

ルヲ制スルノデナケレバナラスト思ヒマス、

唯出ツルヲ量ルニ際シマシテハ自ラ國力ノ

限度ト云フモノガアル、國力ノ限度ニ相應

シタ國策ヲ樹テ、其ノ國策ガ決ツタ以上ハド

ンナニ財政上ノ困難ガアリマシテモ、財政

家ハ其ノ國策ヲ遂行スルダケノ財源ノ支辨

ト云フモノヲ考究スル責務ガアルト云フ風

ニ考ヘテ居リマス、念ノ爲申上ガテ置キマ

ス

○政府委員(矢野庄太郎君) 稻畑サント橋

本伯爵ノ御話トハ、結局事實ニ付テハ同ジ

事ニ歸著スルト存ジマスガ

○伯爵橋本實斐君 同ジナンデス

○藤原銀次郎君 只今大藏省ニ民間ノ外國

ノ債務ニ付テノ數字ニ付テノ資料ヲ御願ヒ

シマシタガ、追ッテソレハ書類デ調ヲシテ下

サルト云フコトデアリマシタガ、更ニ其ノ償

還期限、外國債ノ金額ト同時ニ償還ガ近付

イテ居ルモノガ大分アルヤウニ承ツテ居リマ

スガ、償還期限モ若シ御差支ガナカッタナラ

バ其處ヘ御記載ヲ願ヒタイト存ジマス

○政府委員(矢野庄太郎君) 承リマシタ、

左様ニ致シマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(子爵高橋是賢君) 速記ヲ始メテ

○伯爵橋本實斐君 此ノ案文デゴザイマス

ガ、是ハマア伺フ方ガ無理ナ質問カト存ジ

マスガ、第三條ノ「前二條ノ規定ニ依ル公債

ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場

合ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發行

シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得、其ノ場合ニ

發行シ得ル金額ノ制限ト云フモノハ、無論

填補スル爲ニ必要ナル額ダケト讀ムノガ至

當ダト存ジマスガ、左様デゴザイマスガ

○政府委員(矢野庄太郎君) 政府ノ方デモ

左様ニ考ヘテ居リマス

○河田烈君 議事進行ニ付テチヨット希望

ヲ述べテ置キタイト思ヒマス、今豫算ノ分

科ガ當院デモ始ツテ居リマスシ、其ノ内ニ軍

事實ノ追加豫算モ出ル、衆議院ノ方デモ色々

ナ委員會ガアルト云フコトニナツテ、大藏大

臣ハナカ／＼御忙シイト思フ、大藏大臣ノ

御出席ヲ待ツテ質問セラレタイ各位モ多數

居ラレニヤウニ思フノデスガ、從ツテ此ノ委

員會モナカ／＼早ク片付クト云フ譯ニ行カ

ナイヤウニ想像サレマス、併シ其ノ間ニ、

此ノ委員會ニハ他ノ法律案モドッサリゴザイ

マスノデ、昨日モ御願ヒシテ置キマシタガ、

例ヘバ農業再保險法案ノ如キハ、國ノ方カ

ラ云ヘバ收支計算、事業ノ方カラ云ヘバ事

業ノ目論見書ト云フヤウナモノガ出來テ居

ルニ違ヒナイト思フノデス、サウ云フモノ

ハ一々御質問申上ゲナイデモ出シテ下サル

ナリ、或ハ農業保險ノ方ハ是ハ特別會計デ

スカラ大藏省所管デスケレドモ、實際ノ所

ハ農林省所管デアル、又海軍工廠資金會計

法ニ付テモ一々此處デ伺ハナイデモ分ルヤ

ウナモノハ出シテ置イテ戴イタラ大變簡便

デハナイカト思フノデス、其ノ點ヲ御考置

キ願ヒタイ、ソレカラ若シ海軍當局ナリ農

林當局ガ御都合ガ出來マスナラバ、大藏大

臣ガ御差支ノ時ニハ出テ戴イタ方ガ早ク進

行シヤシナイカト思ヒマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 御尤デアリマ

ス、今仰シヤッタヤウニ、大藏大臣ハ今日ハ

午前コチラニ御出席ガムヅカシイシ又午後

モ御忙シイヤウナ話デスカラ、其ノ間ニ今

ノ農業再保險特別會計法案、海軍工廠資金

會計法中改正法律案、作業會計法中改正法

律案、是等ニ關聯スル資料ヲ御取揃ヘ願ヒ

マシテ御配付戴イタラ便宜ダト思ヒマス

○政府委員(矢野庄太郎君) 承知致シマシ

タ、左様ニ致シマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 今日ハ此ノ程

度デ散會致シマシテ、明後月曜日午前十時

開會スルコトニ致シマス

午前十一時四十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵高橋 是賢君

副委員長 男爵深尾隆太郎君

委員

侯爵筑波 藤麿君

伯爵橋本 實斐君

子爵綾小路 護君

小幡 西吉君

男爵伊江 朝助君

河田 烈君

西野 元君

稻畑勝太郎君

中村圓一郎君

藤原銀次郎君

政府委員

大藏參與官 矢野庄太郎君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君

昭和十四年二月二十五日印刷

昭和十四年二月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局